

1. バードハウスって何でしょう？

鳥が繁殖期に子育ての場所として使ってくれるお家です。

鳥は種類によって子育ての仕方が違います。例えばツバメは人家の軒先に、泥と枯草で巣を作ります。桜の花の蜜を吸いに来るメジロは、枯草とクモの糸などで巣を作ります。

シジュウカラやヤマガラは木に出来た穴やウロ

を利用して巣を作ります。その習性を利用して作るのがバードハウスです。伊豆高原ではシジュウカラやヤマガラの繁殖期は早いのがいで3月末から始まります。バードハウスに苔を運び入れて巣作りして、産卵・抱卵・ヒナ誕生・巣立ちまでで約45日です。



2. 巣箱作りに必要な板と道具は

板は杉の1枚板を使います。金槌で打つクギや電動ドリルで締めるビスで板同士を接合するので、板の厚みは12～15ミリ位は必要です。1枚板はなるべく反りが無い物を選びましょう。手工具で必要な物は1)ノコギリ 2)金槌 3)糸のこ 4)プラスのドライバー 5)有れば電動ドリル。材料は板の他に1)ステンレスの小型丁番 2)クギは安価で実用性の高いステンレス製スクリュークギ32ミリ *スクリュークギは、らせん状になっていて抜けにくい特徴があります。クギの長さは使う板の厚さの2倍以上が基準です。

3. 板切りと組立をしましょう

板切の図面は片屋根型のバードハウスで、シジュウカラや

ヤマガラ用です。屋根板と前板との堺をノコギリでひく時は、少し難しいですが斜めに切ります。底板のサイズは一辺は120ミリですが、もう一辺は底に収まる様に調整して再度カットします。理屈は板厚15ミリならば90ミリになります。底板の四隅は小さく切落します。重要な加工で、内壁に沿って入って来た雨水の水抜き穴となります。ヒナは水に弱いので。前板の穴は糸鋸か電動ドリルに径30ミリのホスナービット又はホルソーを付けて穴加工します。手加工であれば円形ではなく30ミリの四角でも構いません。この鳥の出入口になる穴は、本体の下から115ミリ前後を守ります。シジュウカラやヤマガラが好む高さなので、片屋根型と異なるご自分でデザインしたタイプを作る時もこの基準を守ります。板と板とをクギやビスで接合する為に、表板にキリで下穴を開けておくと組立てしやすくなります。背板の上下に出っ張っている部分には、バードハウスを木に縛り付けるヒモを通す穴を開けます。屋根板と背板は丁番で止め、屋根板の前部分に後で開けられるように前板にネジで止めます。出入り口の基本を守れば、切妻タイプとかもう少し内部の広い物とか挑戦してみてください。板切りが下手で接合部のすき間から雨が入っても、底板の水切り穴があるので大丈夫です。

板の防腐対策として、無色の防腐塗装も良いでしょう。
防腐塗料は臭いますがじき消えます。又 杉板ならバーナーで表面を焼いて焼杉にするのも良いでしょう。

4. 取付はどんな場所？

リビングなどから良く見える場所が良いでしょう。
入ってくれば良く観察が出来て 楽しいものです。前に
枝や葉が無い開けてる庭木とか垣根。 良い場所が無ければ
杭を立てるとか軒下や外壁に付けても構いません。 取付高
さは 1.5 メートル位で十分です。

※ バードハウス工房・四十雀 中村利克
八幡野 1086-81 TEL080-8211-4808
城ヶ崎海岸駅前のイタリアンレストラン・デルフィーノと、
伊豆高原駅近くの伊豆おもしろ博物館・リングフランカで
展示販売しています。

